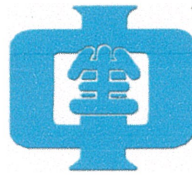


長 坂



平戸市立生月中学校
学校だより第33号
(令和2年 2月)

文責 西澤 庄藏

生月地区は武道が青少年の健全育成に寄与しています。

01/26(日) 町内のB & G海洋センターにて生月町青少年武道大会が開催され、空手道部、剣道部生徒が参加しました。この大会は、武道を通じて心身を錬磨するとともに、将来を見据えて健康で明るい人格形成に資することも目的として行われているものです。中学生はもちろん、小学生や大人【親子対決】まで、多様な試合が組まれていました。

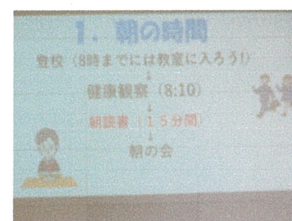
インフルエンザ罹患が気になりつつ、多くの参加者で賑わって大盛況で終了しました。武道の町「生月」を象徴する大会となりました。



新・生徒会役員の人前での初々しい凛とした発表がありました。

01/31(金) 小学6年児童とその保護者を対象として入学説明会を実施しました。会の冒頭に生徒会役員による「学校生活について」のプレゼン発表がありました。

分かりやすく発表ができました。この日のため多くの時間を割いて準備を重ねた成果が出ました。私が話すよりも同世代の中学生の言葉が響くことを児童の様子からも実感したひとときでした。



読み聞かせが最終回でした。「本好き」が一人でも増えたらと願う心境です。



写真は 01/28(火) 3-2 の朝読書の様子です。
(写真のとおり) 月1回、読み聞かせグループ「紙風船」の方々が来校され、学級単位で、絵本の読み聞かせが行われていました。

読書は静かな心で物思いにふけることができます。SNS 全盛の今だからこそ、静かな心で自分を見詰める時間が必要で、それが読書です。作者(他人)の考えを通じて自分の考えを深めていくことが読書の楽しみです。ただ、読書は、自分で本の扉を開かない限り何もはじまりません。本の世界の素晴らしい人々や出来事に出会う喜びを体験することにより、今までと違う新しい自分を発見できると確信します。

これは私なりに考える読書の効用です。

雨模様の昨今、「共に前進」を合言葉に、仲間を誘って学校図書館に足を運び、本に親しんではいかがでしょうか。